

# 被ばく低減対策好事例集

場 所		分 類		番 号	28-03-1
原子炉建屋内 (RB)	タービン建屋内 (TB)	RB	5		
R ZONE (R)	Y ZONE (Y)			2	距離
G ZONE (G)	その他 ( ) (Z)			3	遮へい
				4	線源の除去
				5	遠隔、ロボット化
				6	汚染拡大防止
				7	その他
内 容		ガレキ吸引装置による小ガレキの撤去			
作業部位		1号機原子炉建屋5階（オペフロ）			
概 略		遠隔ガレキ吸引装置による小ガレキの吸引・撤去。			
評 価 (定性 定量)	効 果		対策前	対策後	
		被ばく線量(mSv)	※3,021	※1,278	
		人工数(人日)	8,036	4,088	
事例詳細		※28-03-1、28-03-2、28-06合計の値			
<p>対策前 ガレキは大小さまざまで、1つのガレキ吸引装置ではガレキ吸引が困難であった。</p> <p>対策内容 小ガレキ用遠隔ガレキ吸引装置を開発・使用した。(大型用遠隔ガレキ撤去装置と併用)</p> <p>(1) 遠隔ガレキ吸引装置による小ガレキの吸引  震災後に発生した原子炉建屋の爆発により、既存オペフロ鉄骨の上にはコンクリート片などの小ガレキが多数存在し、ミスト散水設備（ノズルユニット鉄骨）の取付けに干渉するため除去する必要があった。  高所かつ高線量率の環境のため、遠隔操作で小ガレキを吸引する装置を開発し、カバー設置時に開発した遠隔誘導システムを使用して小ガレキの吸引を実施した。</p>					
					
▲ガレキ吸引装置			▲ガレキ吸引状況		